

東京都立水元小合学園

令和7年1月24日(通算122号)

東京都立水元小合学園 校長 米谷 一雄

SNS

随時更新中



自己理解

校長 米谷 一雄

新しい年がスタートしました。今年の干支は巳です。巳年は、これまで努力してきたことが実を結び始める年、そして、蛇は脱皮をすることから、新たな挑戦や変化に前向きなると言われています。1月8日の生徒集会の中でも、両部門それぞれに話をしました。一人一人が目標をもって、前向きに取り組む一年にして欲しいと願っています。

【自己理解】

みなさんは、どれくらい自分のことをわかっているでしょうか。わかっているようでいて、意外とわかっていないのが自分自身のことではないかと思えます。得意なこと、苦手なこと、好きなもの、嫌いなもの、身体のことや心のこと、性格や気質、価値観、考え方、行動などすべて自分の特性として受け止めることが自己理解となります。自己理解を深めることで、自分の行動や決定の理由をより明確に理解し、より自覚的に生きられるようになっていきます。

自己理解が深まることによるメリット

- ① 自分に合う選択ができるようになる
- ② 感情をコントロールできるようになる
- ③ 他者理解も深まり人間関係が充実する
- ④ キャリアや仕事選びにも活かせる

自分自身で、自らを振り返り、行動のパターンや感情の動き、やる気のでるスイッチ等を分析してみることも大切ですが、自分では気づかないことを周りの人から伝えてもらうことも大切です。自分探しの旅と考えると、物事を前向きに捉えていくためにも自己理解を深めていきましょう。

【表彰】

うれしいニュースです。肢体不自由教育部門小学部2年生の鬼澤英俊さんが、「雨あがり」(書)という作品で毎日新聞社会事業団賞を受賞し、1月24日に表彰されました。おめでとうございます。作品については、XやHPに掲載しますので、ぜひ、ご覧ください。

「へビのように、何度も脱皮(挑戦)を繰り返して成長を！」

就業技術科副校長 荒金 普玄

新たな年を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年の干支は、巳年です。干支のへビは、脱皮を繰り返すことから、【復活の象徴】とされています。学校は、学習活動、進路活動、その他全教育活動の場面で、何度も脱皮(挑戦)し、成長できる場所です。生徒達全員が、安心して挑戦できるよう、教職員が一丸となって、教育活動を実践いたします。

新年早々に嬉しいお知らせがあります。昨年9月に行われた【開校10周年記念式典】でシンボルマークや式歌の募集を行った両部門合同の「周年行事实行委員会」が、東京都教育委員会から、「令和6年度教育員会児童・生徒等表彰」として2月に表彰されることとなりました。「周年行事实行委員会」の活動が、児童・生徒の模範となり学校全体により影響を与え、児童・生徒主体で周年行事の機運を高めたことが評価されました。このように両部門の児童・生徒が、協働した活動を今後も継続していきます。

最後になりますが今年度も引き続き、近隣施設の建物清掃の実施、特別養護老人ホームとの交流活動、スポーツ行事へのボランティア参加など地域の皆様とのつながりを重要視した活動・行事を積極的に行ってまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

卒業・中学部進学に向けて

小学部6年担当 榎本 育子

「もうすぐ中学生！」日々の会話の中にもよく聞かれるようになりました。中学部授業体験などを行い、中学部進学に向けての準備を進めています。小学部の学校生活も残りわずかとなってきました。クラスでも卒業までの日程を確認しています。

1日1日大切に過ごしていきたいです。



高等部進学に向けて

中学部3年担当 紺野 大輔

中学部3年生では、高等部入学相談での面接練習に取り組んでいます。挨拶や返事の仕方、質問への受け答えの仕方など、練習を重ねる度にはっきりと相手に気持ちを伝えられるようになってきました。中学部生活も残すところあと2ヵ月。中学部生活のまとめと、高等部進学に向けての準備を進めていきます。



就業技術科

書初め会

国語科担当 岡部 多悟

冬休み明け初日の1月8日（水）、全学年一斉に書初め会を行いました。1・2年生は“2024年を振り返って”又は“2025年の抱負”というテーマで漢字一文字を、3年生は学校生活や部活動のことなど、各自が自由な題材で川柳、俳句を作成しました。

新年にふさわしい個性あふれる作品を作ることができました。作品は、ラウンジ、生徒玄関に展示しております。御来校の機会がございましたら、ぜひ御鑑賞ください。

